

飼い主のモラル

飼い主のモラルのなさから、犬や猫のフン害や放し飼いなどで周りの人たちに迷惑をかけていませんか。飼い主の身勝手から、ペットたちの将来に悲しい結果をもたらします。

何も責任もないペットたちに、飼い主としてきちんと人間の社会で生きていけるよう、愛情と責任を持っていますか。

ペットに

愛情と責任

もっていますか？

しつけるのは 飼い主の責任

最近は全国的なペットブームで、熱帯魚からヘビやトカゲなどさまざまな動物がペットとして可愛がられています。

その中でも、犬は一万年も前から人間と一緒に暮らしているといわれています。その中で、人間と親密な関係を持ち、忠実に理解しあえる動物として飼われています。大館市は、忠犬ハチ公のふるさとということから、「秋田犬」をはじめ多くの可愛い犬が飼われています。

ペットたちはいま、私たちが単



愛犬の社会性チェック

- ・ 来客などにやたらほえる
 - ・ 「マテ」などの命令をきかない
 - ・ 散歩のとき、引き綱を引っ張って先に歩く
 - ・ 散歩中、他人にほえかかる
 - ・ 車や人がそばを通ると尻込みする
 - ・ 近所から迷惑がられている
- ※当てはまる項目があれば要注意です。

に可愛がるものではなく、家族や仲間として対等につきあってもらうという社会性が認められるようになってきました。

あなたの愛犬たちはきちんと社会性を身につけていますか。社会の一員となるためにしつけるのは飼い主の責任です。ただ愛情をもって接すればいいというものではありません。愛情のかけ方が間違っていれば周りに迷惑をかけ、犬自信が不幸になることもあります。犬の基本的なしつけは、座らせ（オスワリ）、そのままの姿勢で動かずにいられるようにする（マテ）、飼い主の足のすぐ脇で一緒に歩けること（ツケ）などがあります。

その前にしなければならぬことがあります。それはまず犬が飼

い主を好きになること。そして飼い主が犬のリーダーになることが大切です。

見渡すかぎり大草原という中で、犬や猫を飼っているのであれば問題は無いのですが、街の中で生活する以上は、周りに住んでいる人たちに恐れられたり、迷惑をかけたりにないように愛犬をしつけ、マナーやルールを守らなければなりません。

大館市の 取り組み

最近ペットについての苦情が市にたくさん寄せられています。中には、「条例をつくり、違反者を厳しく処罰しては」という意見もあります。

そこで、市では今後、条例を制定することも含め検討しています。この条例の中には、犬のフンの処理やペットの放し飼い、ごみのポイ捨ての禁止など厳しい内容となる予定です。この条例は、ペットだけを対象としたものではありません。

市としましては、条例で罰することが目的ではありません。ペットの飼い主がモラルを持っているかどうかが一番の望みなのです。